

佐賀小夏祭り

7月6日、佐賀小恒例の夏祭りがありました。まず、「夏祭り」をみんなで歌って、「新佐賀音頭」をおどりました。

そして、6年生が作った焼き物の「海皿」を売りました。ぼくたち1班が売っている時に、どんどん売れていました。その後、26個全部売れてよかったです。ぼくは、スーパーボールのくじ引きをしました。大きいスーパーボールが当たってうれしかったです。

ラムネの早飲み競争が始まりました。みんなとても速かったです。6年生は、姫羽さんが一番でした。次に、ビンゴ大会です。ぼくは、大きいやつがほしいと思っていました。

すると、大きいふくろが当たって、その中は水鉄ぼうでした。家に帰って弟とお風呂で遊びました。

そして、お化けやしきが始まったので、ぼくはすぐに入りました。とてもおもしろかったので、7回も入りました。今年の夏祭りは、とっても楽しかったし、ラッキーでした。



(佐賀小学校 6年 坂本 愛斗)

平和記念公園に行つて

4校(上川口・南郷・田ノ口・三浦)合同の修学旅行2日目、広島市の平和記念公園に行きました。

午前中に続き、午後また平和記念公園に戻り、学校別活動で観光客などにインタビューなどをしました。最後にインタビューした外国の方に「どうして平和記念公園に来たのか」と聞くと、「原爆が落ちた日にどのようなことが起きたのかを知りたかった」「戦争で亡くなった人のことを思ってきた」と答えてくれました。

私たちが低学年の頃、修学旅行から帰ってきた6年生が戦争について発表してくれましたが、自分たちが修学旅行に行つて戦争について知れたのとてもよかったです。

わたしは、核兵器をなくしたいなと思います。



(田ノ口小学校 6年 谷 一花)

職場体験学習を終えて

5月に3日間の職場体験がありました。僕は柿内自動車で体験をして、社会人になる厳しさや仕事のきつさがよくわかりました。洗車のときは、傷つけないように窓をふいたり、車の中を掃除しました。車の掃除は、利益にならなくてもお客さんのためにやっているということが心に残りました。柿内自動車の皆さんには、タイや交換のやり方など、仕事のやり方をわかるまで教えてもらいました。社会人になって仕事につくためには今からちゃんと勉強をしていた方がいい、進路も適当に決めるのではなく将来どんな仕事につきたいかわかり考えて決めるべきだ、とも言われました。僕は、今から将来のためにいろいろなことをちゃんと勉強しようと思っています。

仕事をするということは、お客さんのことも考えなければいけないし、職場の人との協力や信頼関係も必要です。決して一人でできるわけではありません。そのほかに敬語で会話をすることやわからないことは聞く、という態度も大事だということなどたくさんのお話を学んだ3日間でした。



(大方中学校 3年 田辺 真咲)